

古志福祉だより

第100号

令和8年3月

古志地区社会福祉協議会

TEL 21-0925

FAX 21-1066

ふれあいとみんなが笑顔のまちづくり

■ 三世代交流事業「ミニ門松作り」 青少年部 部長 高塚康代

恒例の「ミニ門松作り」を、12月21日に今年も賑やかに行いました。始める前に、大年の勝部さんから、門松作りのポイントを教えていただきました。毎年参加していただいている方も多いため、それぞれのお気に入りの挿し方で、あっという間に出来上がりました。



最後には、みんなで記念の写真を撮り、「来年もいい年でありますように」と願いを込めた笑顔で終わりました。

■ 「古志カルタ大会」 青少年部 部長 高塚康代



「古志ってどんなところ?」「古志には何がある?」と聞くと、参加していた14名の小学生の皆さんは、カルタの絵札を見ながら、「アーチの赤い橋がある。」「祭りや花火大会がある。」「古志の旗がある。」「幼稚園もある。」などと次々と見つけてくれました。

それぞれが、何十年前前から続いていることを確認し、更には、今回のカルタ大会に参加して下さっていた古志幼稚園の板倉園長先生からは、「幼稚園は、今年61歳だよ。」と教えていただき、参加していた子ども達からは、驚きの声もあがりました。絵札を

見ながら興奮してきたところで、まずは、練習の1回目のカルタ取りを行いました。読み手の板垣青少協会長の声に集中しました。どんどん前のめりになっていく子ども達の姿に、会場は大盛り上がりでした。練習の後、いよいよ本番です。4つに分かれた各グループから、勢いのある「はい!」「はい!」という声が響き大盛り上がりカルタ大会でした。

興奮状態のまま、「すまいる食堂」に行き、配膳のお手伝いをしたり、おいしい野菜たっぷりのごちそうを頂きました。

■ 第三回映写会報告 地域福祉部 部長 楨原 茂

今年度最後の映写会が2月21日にありました。この度も、皆さまからのご寄付を使わせていただき、開催できました。改めて、御礼申し上げます。

『たそがれ清兵衛』のあらすじはご案内のチラシをお読みいただくとして、ほかに印象に残ったことのひとつが方言です。朝ドラ『ばけけ』では出雲弁が大活躍とおだども、山形弁もなかなかのものでがんです。また、真田広之はじめ追真の殺陣はもちろん、宮沢りえの健気さにぐっときた後、最後にちょっと登場した岸恵子が清兵衛の墓参りをするシーンも忘れがたいです。映画って、ほんとええもんだの。

令和8年度も、できれば2回は開催したいと考えております。乞うご期待。

御礼
ありがとうございます
勝部敏治様(思案橋)
園山電工様(夕陽丘)
一人暮らしの高齢者宅
の修理と点検を昨年末に
行っていたいただきました。

編集後記
本号で「古志福祉だより」は100号を迎えます。こうして20年以上延々と発行を続けられたのは、社会福祉活動に精力的に取り組まれた諸先輩方のご尽力によるものと感謝申し上げます。また、これまで温かく支えてくださった関係者の皆様、地域の皆様に心よりお礼申し上げます。本紙は年に数回、あいさつ、お知らせ、報告、お礼等様々な記事を掲載して発行し、古志地区社会福祉協議会と古志地区の皆様を繋ぐ広報紙としての役割を担ってきました。今後も、「古志福祉だより」を定期的に発行し、地区の皆様へ情報発信を続けていきたいと考えています。(総務部長 勝部和徳)

■ おたのしみ交流会～古志幼稚園へ～ さくらんぼサロン部 部長 高橋悦子

12月15日(月)に、今年度2回目となる交流会でさくらんぼサロンのみなさんと古志幼稚園を訪問しました。元気いっぱい太鼓や歌と合奏の発表の後、肩たたきなどのふれあい遊びを20名の園児たちと一緒に楽しみました。サロンからのお楽しみプレゼントは、鈴を付けた紙コップに赤い紙の服と帽子を貼ったサンタさんの置物。材料を持参して、10分ちよつとで出来上がるお髭のサンタクロスと一緒に作った園児たちは、大喜びでした。世代を超えた交流は、それぞれに元気と温かい心をもらいます。これからも、そんな時間が持てますようにと、願いました。



■ お楽しみクリスマスコンサート 元気サロン部 部長 吉井乃里子



12月の元気サロンでは「二胡のミニコンサート」を開催しました。二胡は中国の伝統的な弦楽器で、二本の弦から生まれる深く味わいのある音色が特徴です。

当日は鮮やかな衣装を纏った演奏者5名により「見上げてごらん夜の星を」「浜千鳥」「ふるさと」「川の流れるように」などの曲が次々と演奏され、30名の参加者を魅了しました。

初めて二胡の音色に触れる方も多く、「どこか懐かしく優しい音色に癒やされた」「穏やかな時間だった」といった声が聞かれ、師走のひとときを彩る催しとなりました。

■ 室内ペタンクの開催 高齢者部 部長 横木行夫

12月12日に、12名の参加により、室内ペタンクを開催しました。このスポーツは、できるだけ標的球(ビュット)に近づくように球を投げ、3人ずつ2チームで得点を競うゲームです。

今年は賞品を準備し、4チームに分かれ、予選2試合を行った後、3位決定戦と優勝決定戦の計4試合を行いました。初めて参加された方もおられましたが、球を投げる軽い運動ですので、すぐに慣れたと思います。どのチームも、投げ方を工夫しながら、ゲームを楽しんでおられました。

約1時間半の軽スポーツを、楽しく和やかに行うことができました。

